

『気象学と気象予報の歴史』お詫びと訂正・修正

丸善出版株式会社

お買い上げいただき誠にありがとうございます。本書の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

(最終更新日：2018.12.11)

ページ	誤	正
p.6 5行目	役に立たなかったのはなく	役に立たなかったの で はなく
p.39 24行目	19世の	19世紀の
p.69 10行目	真空である考えた	真空である と 考えた
p.82 15-16行目	こと利用した	こと を 利用した
p.86 最下行	感部を温らせた	感部を 湿 らせた
p.120 13行目	発展ための基礎	発展 の ための基礎
p.121 8行目	アメリカ北西部の	アメリカ北 東 部の
p.182 5行目	高層気象気象の	高層気象の
p.203 9-10行目	ビヤクネス・ビヤクネス	ヴァ イルヘルム・ビヤクネス
p.224 1行目	ヘルゲン学派	ベル ゲン学派
p.241 下から7行目	少なくとも対流圏上端	少なくとも も 対流圏上端
p.244 14行目	これまでの長期予報手法の関する	これまでの長期予報手法 に 関する
p.245 10-11行目	高層気象観測を行われるようになると	高層気象観測 が 行われるようになると
p.295 3行目	人類が化石に燃料をこのまま	人類が化石燃料をこのまま

p.305 6 行目	他にないのではないと思われる	他にないのではないかとと思われる
p.312 下から 8 行目	第二世界大戦後に	第二次世界大戦後に
p.316 21 行目	研究のためのペルーを	研究のためにペルーを